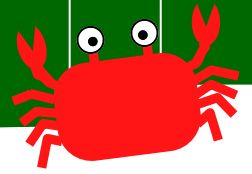


神奈川総合学科NEWS

(カニパト号:06年8月23日発行)



「カニパト」って？

カニパト（カニパトロール）とは、1990年に始まったボランティア活動で、小網代で見られるアカテガニのお産（放仔）を観察される方々のサポートや諸注意、放仔の説明など、そして最も重要なのはお産に来たアカテガニが無事に森まで帰れるようにすることです。

今年度は大師、横浜清陵総合、横須賀総合と3つの総合学科高校の生徒が参加しました。参加の理由は、先生に誘われた、自然を体感したい、6回参加で1単位ももらえるからなど様々です。

カニパトボランティアスタッフは、事前学習を通してアカテガニのことや、観察者のサポートをす



このボランティアでは、たくさんの方々と出会えたり、また、複数の学校からボランティア生徒が参加しているのので、他校の人とも交流でき、人の輪が広がったそうです。こういった活動は、他の学科ではで

るための注意点などを学び、当日には多いときには1000人を超す見学者の方々への説明や、質問に答えることに役立てます。



大自然の中なので、夜になると満天の星空も望めます。

アカテガニのお産の時期になると、当然たくさんのカニの姿も見れます。

また、植物も多く、夜にしか咲かない「カラスウリ」という花も育っています。

たくさんの方がいて、蚊も普段見るものよりも大きく、蜂もあつちこつちに現れます。カブトムシもいて、夜になると蛍も光りだします。

京急線「三崎口駅」最寄にある、人の手がほとんど加わっていない大自然です。

小網代の自然

きない総合学科独自の事です。今年度参加された皆さんも「行く価値はあります」「是非行ってほしい」と力説されていました。皆さんも機会があったら参加して見てください。

編集後記

講座5日目、朝にカニパトに参加された皆さんへインタビューをさせていただき、この新聞を作成しました。1日での作成だったのでとても大変でしたが、楽しくできました。

編集：神奈川県立金沢総合高校 F.F
総合学科夏季公開講座「DTP基礎」にて作成。



取材協力



大師3年次
西橋 美紗さん
小椋 愛華さん

清陵1年次
伊藤 良平くん
佐野 由梨江さん